

Unit 5 ピクニックに行こう (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元「ピクニックに行こう」は、ハンバーガーショップと公園の場面の対話である。ハンバーガーを注文したり、公園へ向かったり、コーラをこぼしたりと、人物の動きがたくさんある Unit であるので、生徒が設定された場面の中で実際に動きながら対話を行うことによって、英語をコミュニケーションの手段として意識しながら活動できるようにしたい。買い物の場面は、小学校英語活動で何度も体験してきているので、さまざまな表現が生徒から出されると思われる。この Unit では生徒の音声としての表現を文字に表すことで、言語材料の正確な定着を図っていきたい。また、場面に新たな情報や状況を加え、それを文字で示して理解した後に、新たに発展的な対話活動を行えるようにしたい。小学校英語活動の場面をさらに広げて与えることで、生徒は興味・関心を持続することができると思う。さらに、音声としての表現を文字に表したり、読んで得た情報から新たな対話を考えることで、4技能のバランスを図った指導を行うことができると思う。

1 目標

- ・ ハンバーガーショップなどで、注文をし、金銭のやり取りをすることができる。
- ・ please の用いられる場面を理解し、使うことができる。
- ・ 好きな教科について相手に尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・ 名詞の複数形の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 音楽や CD について尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ How many~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 「~しよう」と提案したり、「~してください」と申し出たり、「~しなさい」と指示したりすることができる。
- ・ Do you have~?をものを借りるときに使うことができる。
- ・ Let's~.の文と命令文の形・意味・用法を理解し、表現できる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) ハンバーガーショップや公園の対話に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 相づちを打ったり、聞き取りにくかった時聞き返そうとしたりしている。	/	(正確な聞き取り) それぞれの場面での会話を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) 相手の指示、提案、申し出に適切に応じることができる。	(言語についての知識) 命令、提案、申し出の表現の文構造を理解している。 (文化についての理解) For here or to go?など、場面特有の表現を理解している。
話すこと	(言語活動への取組) ロールプレイの会話活動に積極的に取り組んでいる。 (コミュニケーションの継続) All right.などを用いて話し続けている。	(正確な発話) 複数形の表現を用いた対話を正しい発音で行うことができる。 (適切な発話) 会話を役割分担して言うとき、場面や心情に応じて言うことができる。	/	(言語についての知識) 名詞の複数形 s,es は [s][z][iz][t]の音になることを理解している。 (文化についての理解) Do you have~?,please など生活に根付いた表現を理解している。
読むこと	(言語活動への取組) うなずくなど、読んでいる内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) or questionなどのイントネーションを正しく音読できる。 (適切な音読) 様々な場面に応じた音読ができる。	(正確な読み取り) 会話の内容を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) 会話の内容について大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) or questionなどのイントネーションを身に付けている。 (文化についての理解) please など日常生活に根付いている言葉を理解している。

書くこと	(言語活動への取組) 間違うことを恐れず、状況に応じたスキットなどを書いている。 (コミュニケーションの継続) 知っている表現を使って書き続けている。	(正確な筆記) 学んだ表現を用いて文を書くことができる。 (適切な筆記) 店や公園など様々な場面をとらえて、必要な分量を書くことができる。	(言語についての知識) 数字の表現を使った文を書くことができる。 (文化についての理解) アポストロフィ、コンマの使い方を理解している。
------	--	--	---

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時間	ねらい()と学習活動()	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	単元の評価標準との関連	具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① Let's clean up.を歌う。</p> <p>Part1の内容を理解し、注文の表現や複数形の形を知る。</p> <p>② さし絵の人物のせりふを考え、吹き出しに書く。</p> <p>③ さし絵を見ながら Part1の内容を聞き取り、T or Fで内容を確認する。</p> <p>④ Part1の新出単語を練習する。</p> <p>⑤ 本文の音読練習をする。</p> <p>⑥ Q and Aで内容を確認する。</p> <p>please や複数形を用いて店での対話を行うことができる。</p> <p>⑦ 新たに加えられる情報を読んで理解する。</p> <p>⑧ 本文を参考にペアで対話を考え発表する。</p>	<p>リズムに気を付けて歌うことで、英語の強勢の特徴を理解できるようにする。</p> <p>登場人物の絵に吹き出しをつけることで、せりふを自由に考えることができるようにする。 表現の参考として小学校英語活動の買い物の場面を思い出し、ペアで自由に表現できるようにする。 文章で書くことが難しい場合は表現がわかるような単語のかたまり(句)で書いてもよいことを伝える。 自分の書いたせりふとの違いに注意できるように表現を板書する。</p> <p>複数形のSの読み方を指導する。</p> <p>please や or を使った文のイントネーションを理解できるようにする。 繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。 読めない単語を個々に指導する。 内容を確認できるように、答えを英語で書くようにする。 答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>対話を発展させるために新しい情報を付け加えるようにする。 ペアで話し合っって取り組めるようにする。 複数形や or, please をうまく使って表現できるように本文を参考にするよう助言する。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイエ</p>	<p>ハンバーガーショップの会話を理解し、正しく音読できる。 A 注文の会話を正しく理解し、or question を正しいイントネーションで読んでいる。 B 注文の内容が分かり、イントネーションに気を付けて読もうとしている。 (観察、ワークシート)</p> <p>場面に合った内容の対話を行うことができる。 A 積極的に活動に取り組み、場面に合った対話を行うことができる。 B 複数形や please を使い対話することができる。 (観察、発表)</p>

<p>2</p>	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>9 Let's clean up.を歌う。</p> <p>Part2 の内容を聞き取り、How many~?の文を理解する。</p> <p>10 さし絵の人物のせりふを考え、吹き出しに書く。</p> <p>11 さし絵を見ながら Part2 の内容を聞き取り、T or F で内容を確認する。</p> <p>12 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>13 本文の音読練習をする。</p> <p>14 Q and A で内容を確認する。</p> <p>How many~?を用いて対話を行うことができる。</p> <p>15 How many~?と数字を用いた対話を考え、書く。</p> <p>16 対話をペアで発表する。</p>	<p>clean up の音変化を練習することで、連結による音変化に気付くことができるようにする。</p> <p>せりふを考える時に、登場人物の絵に吹き出しをつけ、They like music. という条件を与えることにより、活動に取り組めるようにする。</p> <p>小学校英語活動で好きなことや数や毎日の生活を尋ねた活動を思い出し、せりふに生かせるようにする。</p> <p>文章で書くことが難しい場合は表現がわかるような単語のかたまり(句)で書いてもよいことを伝える。</p> <p>自分の書いたせりふとの違いをとらえられるようにする。</p> <p>How many~?の形を説明し、使い方を確認できるようにする。</p> <p>silent t について説明する。</p> <p>繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>内容を確認するために、答えを英語で書くようにする。</p> <p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>本文の対話のあとに続ける対話を考えることで表現の定着を図れるようにする。</p> <p>アイデアが浮かばないペアは話題を変えるよう促す。</p> <p>本文に続けてペアごとに対話を行い、話題の広がりの違いに気付けるようにする。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウエ</p>	<p>絵美とマイクの会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、正しい強勢やイントネーションで読んでいる。</p> <p>B 会話の大体の内容が分かり、意味が伝わるよう音読している。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>How many~?形を用いて対話の続きを考えることができる。</p> <p>A 場面に合った自然な会話を行うことができる。</p> <p>B How many~?を用いて会話をするができる。</p> <p>(ワークシート、発表)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>17 Let's clean up.を歌う。</p> <p>Part3 の内容を聞き取り、Let's~.の文や命令文を理解する。</p> <p>18 2つの場面でのさし絵の人物のせりふを考え、吹き出しに書く。</p> <p>19 さし絵を見ながら Part3</p>	<p>本時の目標文を意識できるように Let's~.の形に注意して歌うよう助言する。</p> <p>様々な表現を引き出せるように、本文には登場しない友達との対話も考えるように指示する。</p> <p>小学校英語活動で音声として身に付けている表現を文に表せるように机間巡視しアドバイスする。</p> <p>自分の考えたせりふと比べ、便利</p>	<p>ア</p>	<p>絵美とマイクの会話を理</p>

3	<p>の内容を聞き取り、T or F で内容を確認する。 20 Part3 の新出単語を練習する。</p> <p>21 本文の音読練習をする。</p> <p>22 Q and A で内容を確認する。</p> <p>場面に合う対話を行うことができる。</p> <p>23 場面を説明する英文を読み、状況を理解する。</p> <p>24 本文を参考にペアで対話を考え、発表する。</p>	<p>な表現は何かを考えることができるようにする。 音と文字を結び付けるためにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。 読めない単語を個々に指導する。 内容を確認できるように、答えを英語で書くようにする。 答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>提案や指示の表現を使うだけでなく、小学校英語活動で用いられた表現も使用できるような場面を与えるようにする。 提案や支持の表現を入れられるよう個々にアドバイスをする。</p>	<p>イ ウ エ ア イ エ</p>	<p>解し、正しく音読している。 A 会話の内容を正しく理解し、正しい強勢やイントネーションで読んでいる。 B 会話の大体の内容が分かり、意味が伝わるよう音読している。 (観察、ワークシート)</p> <p>場面に合った対話をする ことができる。 A 相づちなどをいれながら、場面に合った自然な会話をすることができる。 B 提案や支持の表現を入れながら対話することができる。 (観察、発表)</p>
4	<p>英語学習への意欲をもつ。 25 Let's clean up. を歌う。</p> <p>課全体の復習をし、話題を確認する。 26 教科書のさし絵を見ながら本文の音読をする。 吹き出しに書いた表現を参考に、タイトルに合った対話を考え、書く。 27 3つの場面の会話文を考えて書く。</p> <p>28 登場人物になり、対話を発表する。</p>	<p>単語の強弱に気を付けて歌うことで英語のリズムを意識できるようにする。</p> <p>暗唱できる生徒はさし絵のみで音読するように指示する。</p> <p>場面を意識した対話を行えるようにハンバーガーショップ、公園へ行く途中、公園の3つの場面を示すようにする。 前時までに書いた吹き出しの表現や新しい表現を使うようにして表現の定着を図れるようにする。 机間指導を行い、ペアに助言する。 店や公園のさし絵を示し、動きをつけながら発表することで言語の使用場面を意識できるようにする。</p>	<p>ア イ エ</p>	<p>場面に合う会話文を書いたり、発表したりできる。 A 場面にあう会話を正しい表現で書き、自然な会話をすることができる。 B 既習表現を使って書き、発表できる。 (ワークシート、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案(Unit 5) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時のハンバーガーショップで注文するという内容は、小学校英語活動で買い物ごっこなどの活動を行っている生徒にとっては、馴染みのある場面である。そのため、吹き出しのせりふを考えると、様々な表現が生徒から出てくると考えられる。本時では、音声として表現したものを文字に置き換え、書くようにしたい。そのことによって、「書く」力を育成することができ、また表現の定着も図ることができる。そして、本文を音読し理解した後、新たな情報をさらに加えることにより、新出言語材料や既習表現を使って新たな場面で表現してみたいという意欲をもたせ、言語活動に積極的に取り組めるようにしたい。その際、「読む」力の育成のため、情報は生徒の分かりやすい表現を使い、文で示すようにする。このように本時においては、音声中心の指導に「書く」「読む」指導を取り入れ、4技能をバランスよく育成していけるよう工夫し、指導していきたい。

1 本時の目標

- ・ 名詞の複数形の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 Let's clean up.の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 リズムに注意して歌うことで、英語の強勢に気を付けられるようにする。	
10	Part1 の内容を理解し、注文の表現や複数形の形を知る。	さし絵の人物のせりふをペアで考え、吹き出しに書く。 ~~~~~ Can I help you? Here you are. How much? It's ~ dollars. small, medium, large. We are sold out. Do you have~? など	自由にせりふを考えることができるように人物の絵に吹き出しをつけるようにする。 様々な表現ができるように小学校英語活動の買い物の場面を思い出せるようにする。	
15		さし絵を見ながら、Part1 の内容を聞き取る。 T or F で内容の概要を確認する。 複数形の形を理解し、発音練習をする。 Part1 の新出単語を練習する。 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	自分たちで考えたせりふと異なる点に気付けるようにする。 会話の概要をとらえられるようにする。 さし絵を使い複数形の説明をする。 pen, desk, bus を使い、複数形の[s][z][iz]の発音を練習する。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる。 暗唱できるように Read and Look up などで行い繰り返し練習を行えるようにする。 please や or の文のイントネーションを指導する。 Q and A の答えを英語で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、イントネーションに気を付けて読んでいく。
20	please や複数形を用いて注文の会話をする。	新しい情報を読み場面を理解する。 ~~~~~ 例 1 clerk 役: You have a special set menu - any hamburger, a large drink and a French fries. The menu is 280 yen. A: You want a hamburger, a drink and a French fries. But you don't want to spend too much money. ~~~~~ 本文を参考にペアで会話を考え発表する。	発展した会話を行うことができるように場面を限定する条件を与える。 活動に取り組めるように条件は数種類用意する。 ~~~~~ 複数形や or, please を入れた会話作りに取り組めるように本文を参考にしよう助言する。	場面に合った会話を行うことができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時も前時同様、吹き出しを使い、小学校英語活動で触れた表現や今までに学習した表現を使い、自由にせりふを考えるようにする。そして、それを文に書くことで表現の定着を図りたい。本文を理解した後、本文の会話の続きを想像し、それを文で書き、発表するという、話すことと書くことを結び付け、自分が音声で表現できることを書く、という活動をたくさん取り入れることで、書くことへの抵抗を和らげることができると思う。生徒は、フォニックスで音と文字を結び付けた練習をしてきているので、つづりの分からない単語でも発音を推測することができ、自分の書きたい単語を単語リストから選んで、使うことができると思われる。このように、聞き慣れた単語や表現を使って、書く活動を行うことにより、生徒は負担をあまり感じないで活動に取り組み、書くことに抵抗感をもっている生徒も意欲を失わずに学習に取り組んでいけると考える。

1 本時の目標

- ・ How many~?の文と応答の形を理解し、表現できる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Let's clean up.を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 clean up の音変化をとらえることができるようにする。	
10	Part2 の内容を聞き取り、How many~?の文を理解する。	さし絵の人物のせりふを考え、吹き出しに書く。 Can you play the piano? What do you do on Sunday? Do you like ~? How many cards do you have? Where are you going? など	人物に吹き出しをつけ、They like music.という条件を与えて考えるよう指示し、活動に取り組めるようにする。 小学校英語活動で好きなこと、趣味、毎日の生活などを尋ねたことを思い出し、様々な表現に気付くことができるようにする。	
15		さし絵を見ながら Part2 の内容を聞き取る。 T or F で内容の概要を確認する。 How many~?の形を理解する。 Part2 の新出単語を練習し、silent t について知る。 Christmas, whistle 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	自分の書いたせりふとの違いをとらえられるようにする。 会話の概要をとらえられるようにする。 How many () do you ~?の形を説明する。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 often, listen の発音しない t を説明し、小学校英語活動で触れた他の単語を示し、復習できるようにする。 暗唱できるように Read and Look up などて繰り返し練習を行うようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 Q and A の答えを英語で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、文の強勢に気を付けて読んでいる。
20	How many~?を用いて、対話をする。	How many~?を使って対話文を考え、書く。 ペアで対話を発表する。	本文の対話に続く内容を考え、表現の定着を図れるようにする。 対話を活発に行えるように、吹き出しに書いた表現も取り入れるよう助言する。 複数形や数字に気を付けて書くよう指示する。 さし絵の風景を背景に会話をし、場面を意識できるようにする。 友達の対話を聞くよう促し、話題の違いや表現の違いに気付けるようにする。	How many~?を用いて会話ができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の言語材料は命令文である。生徒は小学校英語活動において、動物になったりロボットになったりして命令文を使って動作をする活動を行っている。また、授業中多く使われているクラスルームイングリッシュなどでも、命令文は生徒にとって聞き慣れた表現となっていると考えられる。そこで、本時も前時と同様、小学校英語活動で使用した表現などを自由に使い、音声で表現するとともに、それを文でも表現することで、書く力の育成を図りたい。また、新たな対話文を考える活動に、本文の音読だけでなく、より詳しく場面を説明する文を読む活動を組み合わせることより、読むことと話すことを関連付けた指導を行うことができると考える。話す内容を書いたり、読んだ内容を参考に話したりすることにより、話すこと、書くこと、読むこと、それぞれの技能をバランスよく指導していきたい。

1 本時の目標

- ・ Let's~の文と命令文の形を理解し、表現できる。
- ・ Part 3 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Let's clean up.を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 新出言語材料を意識できるように、Let's~の形に注意して歌うよう促す。	
10	Part3 の内容を聞き取り、Let's~の文や命令文を理解する。	2つの場面でのさし絵の人物のせりふを考え、吹き出しに書く。 Let's go. Try it, please. What do you eat for lunch? How does it taste? Let's play soccer. など	さし絵の友達との対話を想像して考えることで、活動に興味をもって取り組めるようにする。 2つの場面で登場人物にそれぞれ吹き出しをつけ、たくさん表現できるようにする。	
15		さし絵を見ながら Part3 の内容を聞き取る。 T or Fで内容の概要を確認する。 提案や指示の文を理解する。 Part3 の新出単語を練習し、ch の読み取りと書き取りの練習をする。 China, watch, kitchen, chopsticks, much 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	自分の考えたせりふと比べ、どんな表現が使われているかを、聞き取りのポイントとして示す。 会話の概要をとらえられるようにする。 Let's~の文と命令文の説明をする。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 lunch, handkerchief のch の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 Q and Aの答えを英語で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、抑揚に気を付けて読んでいく。
20	場面に合う対話を行うことができる。	場面を説明する英文を読み、理解する。 例 場面1 You want to eat lunch with your friends. But it starts to rain. 場面2 Mike: You are thirsty. You want to drink something. But you don't have money. Emi: You are kind. You have a lot of money. 本文を参考にペアで会話を考え、発表する。	本文の続きの内容でさらに会話が展開できるような場面を与え、活動に取り組めるようにする。 表現の定着を図るために、提案や指示の表現を用いながら会話を行うよう指示する。	場面に合った対話を行うことができる。